

令和7年度 障害福祉分野の ICT 導入モデル事業

【法人名】松原愛育会

【事業所名】障害者支援施設 ふじのき寮

【提供サービス】生活介護・施設入所支援・短期入所

導入した ICT 機器：支援記録システム

ICT 機器の製品名：

- ・ほのぼの more PC 20 台分
- ・ipad 10 台
- ・ios 版ほのぼの more ソフト 10 台分

導入前の課題：

利用者の高齢化・重度化、人材不足が進展することで、1人あたりの業務負担の増加が顕著となっている。それにより、残業が増えることや本来である利用者支援の時間と質の低下が懸念される。そして、支援の事故・職員の離職に繋がる可能性も思慮されている。

さらに既存のソフトのサポート期限が終了し、メーカーのサポートがなくなる。

導入の目的：

- ・支援員の記録や日誌作成に係る業務時間の改善を図る。
⇒支援員が記録業務の時間を削減できると、その空いた時間を支援の時間に補填する。
記録業務を軽減し、支援体制の強化を構築出来るようにする。
- ・メーカー側のサポートの充実
これまで、ソフトに不具合が発生したときには事務員や支援員がスポット的に対応していた。それを外部委託をすることで該当職員の負担が減る。
- ・上記以外でも、様々な期待・効果が見込まれる。

導入の方法：

仲介業者とすり合わせとテスト運用を行いながら、新記録システムと既存ソフトの整合性を確認しながら導入した。使用方法を全職員が把握するため、複数回に分けて説明会を行った。

導入の効果：

機器の導入よりあまり日が経っていないため大きな変化や成果の統計はまだ確認できていないが、始めはスタッフがソフトに慣れていないことで活用されることも少なかったが、次第に操作方法を理解して活用されることもみられている。